

光の”どけき”って何？

▶ 2023.10.26(木)

久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらん -- 紀友則

兄：「おう，かるたの話か！

百人一首のことなら，にいちゃんにまかせとき！」

弟：「”光のどけき”のね，”どけき”って何のこと？」

兄：「そうだな，

光の輪とか，光の影とか言うな，

そうゆうことだと，光の”どけき”とはだな…」

弟：「さすがのにいちゃんもわかんないの？」

兄：「いや，いや，ちょっと忘れただけだがや…

そうそう，思い出した…

光の”怒気来”といってな，

光が，ほれ，”か～っ”と怒ったように気分で来るんだな，これが…

すると暑いだろうが…

弟：「でも，”春の日に”ってあるから春でしょ？

ぼかぼかじゃないの？」

兄：「うぐ！

あのな，春にも暑い日もあるだろうが…」

弟：「なるほど，作者は非凡だから，常識にとらわれないんだ…」

兄：「そう，そう，よく分かっているじゃないか…」

父：「う～ん，さすがは兄貴，たいしたもんじゃ…」

あほばか親子でした。

じゃんじゃん